



こんにちは！ 地域包括支援センターです 認知症のお役立ち情報

Vol.3

『暮らしを支える地域の見守り』



最近、「困っている方を見かけたら声をかけてみよう」、「気にかけてみよう」、そんな小さな思いを大切にしている住民の方が少しずつ増えています。

こうした“ちょっとした気づき”が、地域の見守りにつながっていきます。そこで第3回は、地域で見守り支える認知症サポーターとチームオレンジの活動等を紹介します。

認知症サポーターってどんな人？



認知症について正しく理解し、「できることをできる範囲で」支えてくれる地域の応援者です。
特別なことをするのではなく、普段の暮らしの中でできることから参加できます。



活動例



見守り・声かけ



気になる様子 のときに、地域包括支援センターへつなぐなど

認知症サポーターになるには？

認知症サポーター養成講座の受講が必要です。村では、これまで約1万人の方が受講し、地域の見守りを支えています。

受講後は、認知症サポーターの証である「認知症サポーターカード」が授与されます。



チームオレンジって何？



認知症サポーターの新しい活躍の場



認知症サポーターとして「活動してみたい」を形にできる場です。

- ・見守り
 - ・困っている方へのちょっとしたお手伝い
 - ・地域イベントへの協力
- など、参加の仕方はさまざまです。



認知症サポーターに知ってほしい2つの取り組み

【茨城県おかえりマーク】

靴や衣類等に貼るシールです。認知症により外出先から帰ることができなくなり、警察等に保護された場合、おかえりマーク利用登録時の情報とおかえりマーク登録番号から本人を特定し、家族等の緊急連絡先に連絡が入ります。



【いばらきポリス】

茨城県警察のスマートフォン用公式防犯アプリです。行方不明者情報や防犯情報などを配信しています。



気になる方がいたら警察へ連絡を！



問い合わせ

▽北部地域包括支援センター（総合福祉センター「絆」内 ☎212-7785）

▽南部地域包括支援センター（特別養護老人ホーム オークス東海内 ☎352-2867）